

脱炭素先行地域 への挑戦

文・笠間市長 山口 伸樹



ギャラリロード周辺（空撮）

市では、環境省が取り組んでいる全国100か所の「脱炭素先行地域」への選定を目指して、2月に行われた第3回募集に申請を行いました。これまでに全国で46地域が選定されており、笠間市は第1回に挑戦しましたが、努力が足りず不採択となりました。今回新たな計画をもとに、応募しました。

笠間芸術の森公園やギャラリロード周辺をモデル地域とし、地元行政区・商店会・茨城県・関係機関と協力して、地域振興と合わせた脱炭素を目指す計画です。

地域内の住宅・事業所・公共施設への太陽光発電・蓄電設備の設置、省エネ対策、自転車などエコな移動手段の活用、笠間焼の窯への再エネルギー利用、笠間芸術の森公園の駐車場を活用した太陽光発電等が事業の中心となります。

提案が選定されると、事業に対して3分の2の補助金が交付され、計画を進めるうえで財源的に大きな支援となります。

また、本市が環境対策へ取り組む姿勢を見せることができます。

4月に結果が出ます。提案内容は後日、ホームページで公表してまいります。

めざせ、脱炭素社会。



「環境負荷ゼロへの挑戦」

市では、プラスチックごみやCO₂の排出量削減に向けて取り組みを進めています。一例を紹介します。

●「ペットボトル」水平リサイクル

サントリーグループと協定を締結し、ごみ集積所から回収されたペットボトルと同じ量が「サントリー製飲料のペットボトル」として生まれ変わること、プラスチックごみの減量につながります。

令和4年4月から12月までの回収量

↓56,408 kg

(500mlペットボトル約282万本分)

●小型家電リサイクル

不要になった小型家電製品（品目指定あり）の無料回収を行っています。回収後は処理業者へ引き渡し、選別をしてアルミや真鍮が取り出され、再利用されます。

令和4年4月から12月までの回収量

↓990 kg

●廃食用油回収

未使用・使用後を問わず廃食用油（植物由来のもの）の無料回収を行っています。回収後は再生業者へ引き渡し、精製してバイオディーゼル燃料や石けんなどに利用されています。

令和4年4月から12月までの回収量

↓1,890ℓ

資源物の適切な分別・回収にご協力ください。



市ホームページ

問 資源循環課（内線129）

